

# 世代を超えて繋がる笑顔の拠点

# 碧南市立棚尾公民館(愛知県)



棚尾公民館



児童センター

## 公民館の沿革・年表

- ・昭和52年 旧棚尾公民館建設
  - ・平成8年 棚尾公民館・棚尾児童センター整備事業開始
  - ・平成9年10月 棚尾公民館・棚尾児童センター 工事着手
  - ・平成10年12月完成
  - ・平成11年2月 開館
- 建物の老朽化、また利用者ニーズの多様化や地域拠点としての機能不足解消のため改築するとともに、児童センターの建設も含めた市内初の大型複合施設として建設された。

## 左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

- ・複合施設として、次代を担う子供たちのため、児童センターを併設し、親子のふれあい、仲間づくり、子育て交流の場として活発に利用されている。
- ・本県の「人にやさしい街づくり条例」に適合した、身体障害者・高齢者に優しいバリアフリー施設として設計されており、子供から高齢者まで幅広い年代に利用され、地域組織活動の拠点となっている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	10000人	3. 来館者のインターネット接続環境	無し
		2. 建物設置年月日	平成11年2月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	無し
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 407人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 29591人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人			合計	55,255人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 25257人 ( 児童センター23,157人 公民館まつり1,500人 おもしろフェスティバル600人 )				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人 )			合計	6人
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂				
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援				
	<input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール				
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター				
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 児童センター )				
<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 市内最大規模の公民館であり、児童センターを併設し、幅広い年代に利用される。 )					
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学				
	<input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関				
	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他				
	( 棚尾保育園、棚尾幼稚園、棚尾小学校、南中学校 )				

## 碧南市棚尾公民館

OPEN 月曜～日曜日・午前9時～午後9時 H P <https://www.city.hekinan.lg.jp/soshiki/kyouiku/shogajakushu/tbukouminnkann/tanaokominkan/index.html>  
TEL 0566-41-0892 SNS





## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

棚尾公民館は青少年育成棚尾地区推進委員会や棚尾おやじの会等、様々な地区団体の活動拠点となっており、それぞれの団体が公民館と共催し、多種多様な活動・イベントを行っている。しかし、人口減少や地域コミュニティの希薄化等により、地域行事への参加者は年々減少している。さらに、コロナ禍以降多くの事業が中止になり、活動再開後も参加者が集まらず開催できない事業も発生し、地区団体の力を活かした地域活動の再開・活性化が課題となっている。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

### 「子どもも大人も参加したがる！協力一致 鬼ごっこ大会」

—アフターコロナのイベント再開を契機とした公民館事業の見直し事例—

#### ■ 伝統的事業の再開失敗と刷新

・棚尾公民館において29年連続開催していた「協力一致 長縄跳び大会」がコロナ禍で4年間中止となったが、棚尾地区の伝統ある行事として継続が望まれた。  
・令和4年度コロナ禍明けに再開を企画し参加者を募集したが、申込みが少なかったことにより開催できなかった。これを受け、令和5年度は事業の復活に向け「参加者を集めること」に重点を置き、事業内容を刷新することとなった。

#### ■ 長縄跳び大会から鬼ごっこ大会へ

・事業のリニューアルにあたり参加者を確実に集めることが大前提であるため、メインの参加対象である棚尾小学校児童へヒアリングを実施。  
・子供に人気のテレビ番組から着想した「鬼ごっこ大会」が候補となる。  
・大幅な事業内容変更のため、各協力団体と何度も協議を重ねた。  
・イベント周知の要であるチラシ作成にあたっては、参加者である小学生とハンター役をお願いする中学生ボランティアで周知対象によってデザインを分け、それぞれに合わせて興味を引けるようなチラシを作成し配布した。



協力一致 鬼ごっこ大会スタート！



左：中学生向けチラシ 右：小学生向けチラシ

## 3. 取組による成果や効果

#### ■ 4年振りの事業復活成功。参加者の大幅な増加。

・小学生83人、中学生ボランティア76人、一般スタッフ36人、職員2名、計200人の参加。  
・令和4年度の大会は小学生6人のみで開催できず。令和元年度は合計参加者151人。

#### ■ 地域づくり人材の発掘

・魅力ある事業内容、印象的な広報チラシにより、多くの人の目に触れたことで様々な協力者が集まった。また小学生参加者の保護者にもボランティアを呼びかけ、スタッフとして大活躍。新たな人材発掘の機会になった。

#### ■ 地域連携の機会創出

・協力してくれる地区や他団体がミッション運営などを担い、地域連携の機会になった。



第30回 協力一致 鬼ごっこ大会  
参加者200人

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

・イベント後にはスタッフ反省会、参加者アンケートを実施。小学生、中学生ボランティア、一般ボランティアともに大変好評であった。

・青少年育成棚尾地区推進委員会が年3回開催され、小学校及び中学校校長をはじめ棚尾地区の青少年の健全育成活動に取り組む団体の代表が集まり、意見交換をし、検証・改善を行った。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

・団体間の交流活発化、連携強化を促進・支援できるように、地域の様々な組織や地域住民と積極的にコミュニケーションを図り、地域住民に寄り添いながら、地域のネットワーク構築の拠点となるような環境づくり・関係づくりを行う。

・老若男女問わず幅広い年代に利用される活気のある場を提供し、明るく楽しい地域づくりに貢献する。



子ども絵画教室

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

碧南市では、誰もが気兼ねなく、気軽にまちづくりに参加できる「地域まちづくり組織」の立ち上げに向けた取組を支援している。棚尾地区においては平成30年度より、地域で活躍する様々な個人・団体により構成された「棚尾まちおこしの会」が発足。しかし現状「たなを村まつり」の開催に留まっており、さらなる地域課題の解決に向け、公民館としてサポートをしながら参加住民による自立した組織運営を目指す。



たのしいなつのおもしろ  
フェスティバル